

**PEP 卓越大学院プログラム生 募集要項
7 期生 (2024 年 4 月 TD1 進入) 選抜試験****本プログラムの概要**

本「パワー・エネルギー・プロフェッショナル(PEP)育成プログラム」は、13 連携大学（早稲田大学、北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学）による 5 年一貫の博士人材育成プログラムである。

プログラム生は自らの所属する大学の研究科・専攻（以下、「本属専攻」という）の履修・修了に加え、本プログラム修了要件（TD1 から TD5 までの 5 年間で 45 単位、TD3 編入者は 3 年間で 15 単位修得、各種審査合格）を満たすことにより「PEP 卓越大学院プログラム修了証」が授与される。本プログラム授業科目は、卓越必修科目（7 科目 10 単位）が早稲田大学に設置され、それ以外の卓越専門選択科目等は本属専攻に設置される。早稲田大学に設置される卓越必修科目の履修にあたっては、オンデマンド形式、集中授業形式、学外連携先実習の形態で実施し、12 連携大学学生にも配慮した設計となっている。なお、本プログラム修了は、本属専攻の履修・修了が大前提となるため、履修・修了について、本属専攻の要件等を必ず確認すること。

1. 出願資格**◆13 連携大学共通**

以下の(1)、(2)の両方を満たすこと。

- (1) 出願時において、13 連携大学の所定の研究科・専攻の修士課程もしくは一貫制博士課程の入学試験（2024 年 4 月）に出願し、合格が決定した場合、当該専攻に入学の意思がある者
- (2) 修士課程修了後の博士後期課程進学を強く希望し、本プログラム修了の強い意志がある者

◆横浜国立大学学生

以下のいずれかの専攻の博士課程前期の入学試験（2024 年 4 月入学）に出願し、合格が決定した場合、当該専攻に入学の意思がある者。所属する専攻の入学手続を行わない場合は出願資格を喪失する。

- ・理工学府 化学・生命系理工学専攻（エネルギーマテリアル系分野を対象）
- ・理工学府 数物・電子情報系理工学専攻（電力系分野を対象）

2. 募集人員 若干名**3. 出願期間 2023 年 12 月 25 日（月）～ 2024 年 1 月 5 日（金）****4. 出願書類**

- ・志願票・修士論文研究計画書<以上、指定書式>
- ・受入指導教員／現指導教員からの推薦書<書式自由>
- ・2023 年度春学期までの成績証明書

※出願書類一式は理工学府 Web サイト（<https://www.fse.ynu.ac.jp/education/pep/index.html>）よりダウンロードすること。

※志願票には**受入指導教員の押印が必要**となるため、出願に際しては事前に受入指導教員の内諾を得ること。

5. 提出方法

以下の(1)、(2)いずれかの方法で提出すること。

- (1) 窓口受付：理工学府係窓口へ持参。（平日 9：00～12：45、13：45～17：00）
- (2) 郵送受付：2024 年 1 月 5 日（金）必着で下記宛先へ**簡易書留**による郵送。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学理工学系教務課理工学府係

※封筒に「PEP 卓越大学院プログラム願書在中」と朱書きすること。

6. 選抜方法・選抜スケジュール

選抜は次のスケジュールに従い、書類選考と口述試験にて実施される。

- ・書類選考：出願書類により選考を行い、書類選考通過者に口述試験の集合場所・集合日時ならびにプレゼンテーション資料作成について通知する。
- ・口述試験日程：2024年1月23日（火）～2024年1月31日（水）の間で、各専門分野が指定する日時
- ・口述試験形式：対面もしくはオンライン
- ・口述試験内容：これまでの研究内容、志願動機、本プログラム進入／編入後に取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーションと質疑応答。
- ・結果発表：2024年2月中旬～下旬
- ・進入／編入手続：2024年2月下旬～3月上旬

7. プログラム履修期間

本プログラムに係る科目履修期間について、卓越必修科目は2024年4月からTD5終了時までとする。卓越専門選択科目・卓越俯瞰選択科目は、プログラム進入／編入時点で所属する課程での在籍期間のうち、TD5終了時までとする。

8. 卓越RA費

- ・本プログラム生は連携機関や企業等との共同研究等に参画することにより、研究代表者である指導教員等から卓越RA費を受給することができる。受給開始可能時期は2024年4月1日となる。ただし、社会人枠学生や安定的収入のある学生、休学中の学生、プログラム延長生は対象外となる。
- ・本プログラム生は、理工学府博士課程前期2年次に理工学府特別研究員／特待生制度に必ず応募する必要がある。

9. プログラム履修手続等

2024年4月からのプログラム履修手続に関しては、本プログラム事務局より進入／編入手続完了者宛に連絡する。

10. その他

- ・提出された出願書類の変更は認めない。また、出願書類の返還は行わない。
- ・出願時に収集した個人情報や試験実施、結果発表、履修手続およびこれらの付随業務のために13連携大学で共有する。加えて文部科学省ならびに関係機関への報告等に使用する。その際、当該個人情報の漏洩、流出、不正使用等がないよう、必要かつ適切な管理を行う。また上記業務を委託する場合は、委託先に対し契約等により必要かつ適切な管理を義務付ける。
- ・本プログラム進入／編入による、所属する大学の研究科、専攻および研究指導の変更は生じない。
- ・本プログラム採択大学は、文部科学省へのプログラム修了者の追跡調査報告ならびに、文部科学省科学技術・学術政策研究所が運用する「博士人材データベース（JGRAD）」を活用した修了者の状況把握に協力することとなっている。
本プログラム進入／編入者は、修了後これら調査等に協力することが求められる。
- ・5年一貫制教育プログラムである本プログラムに進入／編入した場合においても、理工学府博士課程前期の修了および博士課程後期への入学を保証するものではない。博士課程後期に進学する際は、別途対象専攻の大学院入試を受験し、合格しなければならない。

11. 問合せ先

横浜国立大学理工学系教務課理工学府係
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
TEL： 045-339-3817
FAX： 045-339-3820
E-mail： ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

以上